



佐渡潜水（株）

渡辺 伸一さん

Topic 01 自分で作ったスーツが形になる瞬間

佐渡潜水株式会社は、佐渡市に拠点を置く海のプロフェッショナル集団です。潜水作業、ダイビングスーツ製造、さらに海底熟成酒の取り組みなど、多彩な事業を手がけています。

渡辺さんは[※]ドライスーツ製造を担当し、手作業でのスーツ製作のノウハウを40年以上積み重ねてきました。高校卒業後に「佐渡で海に潜る仕事は珍しかったので、『面白そう』と思って入社しました。」右も左も分からない状態から始めた渡辺さんにとって、この仕事は人生そのものです。

「自分で作ったスーツが形になる瞬間、達成感と喜びを感じます。作っている最中、集中している時間そのものが楽しいですね。」

※ドライスーツ：体が濡れないように作られた潜るときの防水スーツ。寒い海でも暖かく潜れます。

Topic 02 仕事から得られるやりがい

ドライスーツ製造はほとんど手作業で行われます。技術を身につけるには時間がかかりますが、渡辺さんは「完成したときの達成感」が大きなやりがいだと語ります。

「難しい注文もありますが、悩みながら挑戦することで、やればできるんだと実感できます。お客様に届けられる製品は、自分の努力の証ですね。」また、「仕事を通じて成長できること」が大きなモチベーションだと言います。長年の経験を通じて、自分の技術を一人で完成させられる力が身についたことは、何物にも代えがたい財産だそうです。



Topic 03 私生活・働き方との両立

渡辺さんにとって仕事は生活の一部であり、日々の暮らしと密接に関わっています。プライベートの時間も大切にしており、休日や用事がある際には柔軟に調整できる環境が整っています。

「仕事をきちんと終わらせた上で、自分の時間を確保することを心がけています。生活と仕事のバランスが取れているのが、佐渡で働く良さだと思います。」

Topic 04 作ったドライスーツの活躍

渡辺さんの手がけたドライスーツは国内外で使われ、テレビ番組でも紹介されています。鉄腕ダッシュの撮影や北海道の流水ダイビングなど、様々な場面で活躍しています。

「ゼロというマークがついたスーツは、ここ佐渡で作られています。完成品を見ると、自分の努力が形になったんだと実感できます。」

また、海外向けの注文もあり、グローバルに渡辺さんの技術が届けられています。

Topic 05 高校生へメッセージ

渡辺さんはこの仕事に向いている人について次のように語ります。

「黙々とコツコツ作業できる人。手作業なので、覚えるまで時間がかかりますが、焦らず挑戦できる人が向いています。」

さらに、困難に直面したときの心構えについても教えてくださいました。

「無理にせず、気負わずマイペースでやるのが大切です。今日一日を精いっぱいやれば、また明日なんとかなる。そうやって前に進めば、結果は必ずついてきます。」

渡辺さんの姿勢は、挑戦することの楽しさと、技術を磨くことの喜びを私たちに伝えてくれています。



投票は公式LINEから

佐渡潜水（株）
のHP